

広島大学における 博士課程後期学生を対象とした キャリア支援・就職支援事業について

広島大学教育本部博士課程教育推進部

コントラクト・UEA(特命助教)

田中圭子／赫 至琪



広島大学

2025年9月16日、文部科学省「令和7年度 未来を先導する世界トップレベル大学院教育拠点創出事業」に、本学が提案した「「持続可能な発展を導く科学」を実践する世界的大学院教育拠点形成」（参画大学：島根大学、岡山大学、山口大学、徳島大学、香川大学、愛媛大学、高知大学）が採択されました。

本事業は、「徹底した国際拠点形成（国際化）」と「徹底した産学連携教育」の実施を通じて、豊かな学識と国際性、高度な実践性を身に付けた博士人材を育成する機能を高めるとともに、組織内の資源配分の見直し等を通じて、質の高い博士人材の増加を図る大学院教育拠点の形成を支援することを目的としています。

博士課程後期学生を対象とした3つのプログラムを用意し、PBL授業やインターンシップでトランスファラブルスキルを備えた博士人材を育成することにより、彼らが研究者として、ジェネラリストとして、文理の多様な研究開発や産業の発展に貢献できるよう、支援してゆく計画です。

事例紹介では、この新規事業についてご説明するとともに、全学年の留学生を対象として実施する「留学生キャリア形成促進プログラム」（文部科学省「留学生就職促進教育プログラム認定制度」事業）、および海外研修で収集した欧州におけるトランスファラブルスキル教育の現状を含むキャリア支援の動向についてもご紹介します。

- ・ 文部科学省「未来を先導する世界トップレベル**大学院教育** 拠点創出事業」
- ・ 「**持続可能な発展を導く科学**」を実践する世界的大学院教育拠点形成
ー日本のイノベーションを推進するリーダーとなる**博士人材の育成**ー
(R7.9月採択, 申請大学: **広島大学**)
- ・ 参画大学: 中国四国地域の国立大学(岡山大学, 島根大学, 山口大学, 徳島大学, 愛媛大学, 香川大学, 高知大学)

広島大学 大学院教育推進機構による大学院システム改革

徹底した組織マネジメント改革

- ・ 「教育・国際・産学・地域連携」を**UEA (エデュケーションアドミニストレーター)**を介して連動させる組織横断型マネジメント
- ・ 各研究科等を**UEA**を介して統括する組織縦断型マネジメント
- ・ 博士課程教育体制の人材マネジメント
 - ✓ 博士課程教育重点教員制度の全学実施
 - ✓ **UEAとモデレーター**との博士課程教育の分担

世界をつなぐ国際拠点形成

ーASEAN・南アジア・アフリカと欧米をつなぐ国際ハブ大学ー

徹底した産学連携教育と出口開拓

ーIndustry Advisory Boardとの共創ー

博士人材の多様なキャリアパスに対応した3つのキャリア別教育プログラムの展開
(アカデミア, 研究マネジメント人材(URAなど), 企業研究者)

博士課程後期学生への支援を核とした新事業

国際化と地域連携・社会連携による3つのキャリア別教育



HIROSHIMA UNIVERSITY

受入れと派遣強化のための国際化の推進

- 留学生獲得戦略
- 留学生の地域定着プログラム

海外教員を副指導に加える国際的な博士指導体制の確立

全分野で博士学生と若手教員の海外派遣を実施

多様性を高める博士教育の大学連携

- 参画大学の博士学生と共に取り組むPBL
- 博士の人脈形成
- 参画大学と共催する就職支援イベント

研究指導教員とモデレーターによるダブル指導制度



地域と一体になった徹底した産学連携教育

企業の人事経験者等を雇用し、博士学生に寄り添い、博士人材力を養成する

産業界などの委員からなるIndustry Advisory Boardとのカリキュラム共創

- 地域の問題解決
- 産学連携研究の実践の場を体験
- 企業内で開発体験

- 博士人材を介した産学の共同研究の拡大
- 博士学生就職支援

文部科学省「留学生就職促進教育プログラム認定制度」認定 留学生キャリア形成促進プログラム 概要



HIROSHIMA UNIVERSITY

【目的】

- 「留学生キャリア形成促進プログラム」を提供することにより、本学の外国人留学生の日本への就職を促進
- 本プログラムを通じて、外国人留学生の就職・フォローアップまでの支援を実効的に行う体制を整備
- 地域企業等の協力の下、キャリア形成支援体制の整備・強化を図ることで、本学が取り組む地方公共団体や地域の企業等との連携による外国人留学生の受入れ・定着支援に好循環を生み出す

【概要】

履修定員：20名

- 履修要件
- (1) 広島大学に在籍する正規の学生であること
 - (2) 大学院大学院博士課程前期及び博士課程・博士課程後期に在籍する者
 - (3) 日本国内での就職を目指す外国人留学生であること
 - (4) 日本語教育の参照枠C1・日本語能力試験N1相当の日本語能力のある者

日本語教育

ビジネス日本語（1単位）

実務日本語（2単位）

キャリア教育

留学生のためのキャリアマネジメント講座A（1単位）

留学生のためのキャリアマネジメント講座B（1単位）

インターンシップ

長期インターンシップ
1か月程度（事前事後指導含む）
（2単位）

マッチング支援

企業説明会開催

企業と留学生の
交流会開催

キャリアセミナー

企業訪問支援

個別相談

【体制】

マッチング支援

HiCIS

広島県留生活躍支援センター



東広島市

実施主体



広島大学

グローバルキャリアデザインセンター

森戸国際高等教育学院

グローバルラーニングセンター

協力企業（インターンシップ）

eclect

KAUTEX
A Textron Company

SATAKE

D&ISO
デザイン

株式会社 タケウチ建設
Takeuchi Construction Inc.

Hilton
HILTON HHNA

平山和夫美術館

ココロ、カラダに、スマイル。
FRESTA

まつやゼロファン株式会社

micron

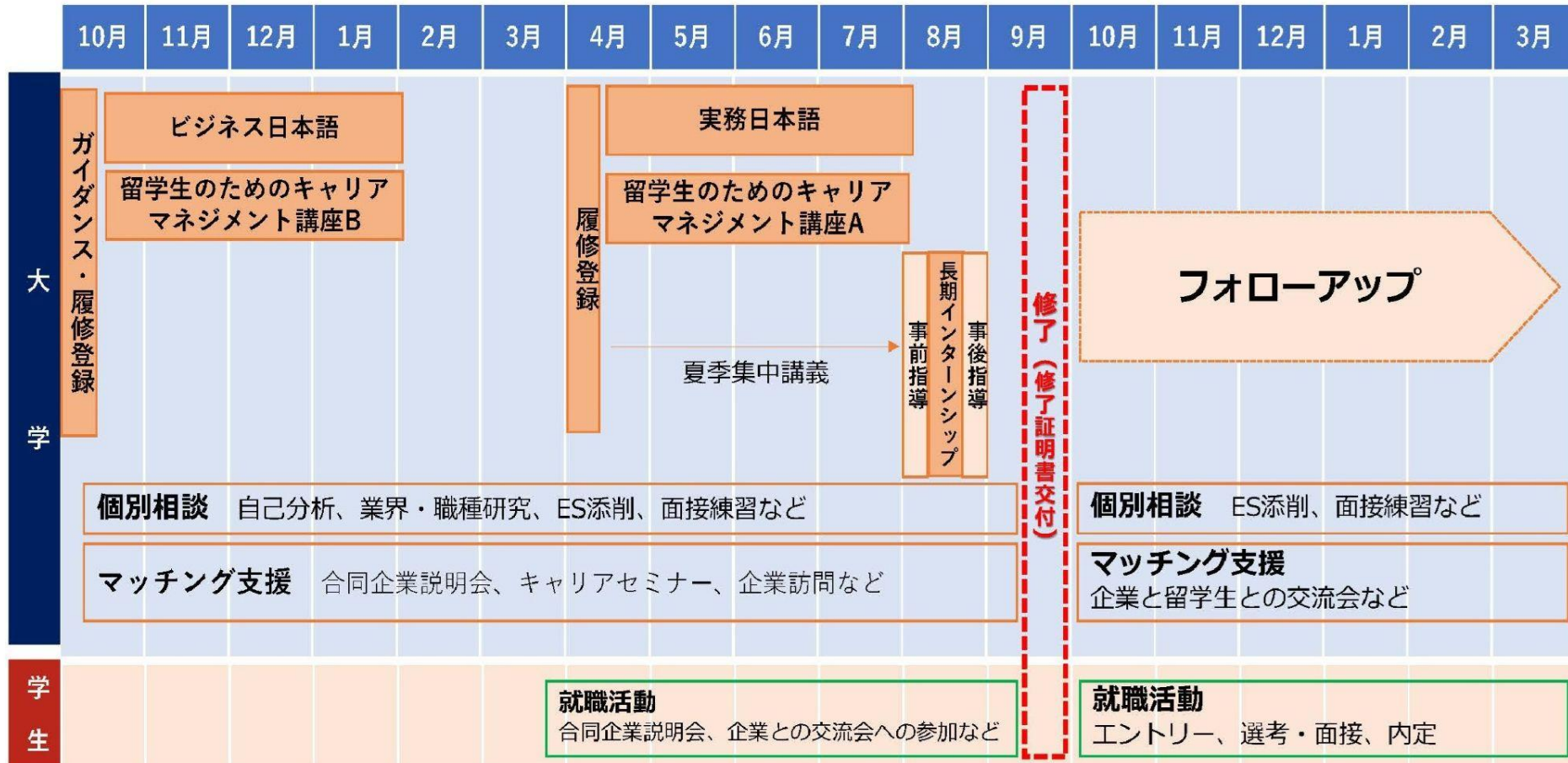
良和ハウス

文部科学省「留学生就職促進教育プログラム認定制度」認定 留学生キャリア形成促進プログラム 履修モデル



HIROSHIMA UNIVERSITY

- プログラムの開講時期は後期に設定
- プログラム修了後も継続的にフォローアップ



UEA研修による資料収集調査事例

博士教育におけるトランスファラブルスキル教育の日欧比較(概要)



HIROSHIMA UNIVERSITY

総論

欧州では博士教育におけるトランスファラブルスキルの履修が

時間・単位で明示され必修化される事例が多い(履歴化・可視化が標準化)

UCLouvain (ベルギー)



60 ECTS トレーニング枠



TA経験・国際会議参加等の
単位化・履歴化



Louvain Learning Lab等で
教育・指導スキルを体系的に提供
(実務経験と研修の二本立て)

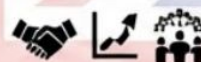
ノッティンガム大学 (イギリス)

初年度



基礎研修集中実施
(プレゼン・統計・研
究倫理・チームワーク
等)

2年目以降



実践・応用重視
(アクションラーニング、
産業プロジェクト等)

理論→実践の段階的設計

ルーアン大学 (フランス)



組織的提供(専門分野別・横断的
コース、セミナー、ワークショップ)



必須: 研究倫理・誠実性
推奨横断モジュール: コミュニケー
ション・プロジェクト管理・教育学



Amethisで記録・管理(修了要件
に組み込み、事務的履行も必須)

3大学(国)と比較した場合の日本の特徴と課題

- ⚠ 必修化は限定的で履修・研修の実施は教員や研究室に依存する傾向が強い
- ⚠ 欧州のような単位化・履歴化の制度導入が少なく、個人差・所属差が大きい点が課題

UEA研修による資料収集調査事例

ノッティンガム大学における Expectation Setting Exercise (原本)



HIROSHIMA UNIVERSITY

Suggestions for areas of discussion to be covered during the expectations setting exercise meeting	
Frequency of supervisory meetings	☐
Responsibility for scheduling of regular meetings	☐
Agreement of regular working hours and location	☐
Day to day training in research techniques, who will deliver it, and sources of help	☐
Expectations around notice required for booking annual leave	☐
Preferred methods of communication	☐
Data management and lab books	☐
Programme of study – this should include discussion around training, careers support, teaching, requirements of specific programmes (e.g. BBSRC DTP/CDT etc) and clear communication between student and supervisor on what is being undertaken	☐
Expectations around independent working	☐
Safety – lone working, laboratory safety etc	☐
Level of support to be expected from individual members of supervisory team for personal difficulties the PGR may encounter and other sources of School of Pharmacy/UoN support available	☐
Responsibility for obtaining ethical approval where required	☐
Agreed timeframe for supervisor reviewing PGR work and expectations around writing progression reports and final thesis, standard of the thesis and feedback from supervisory team	☐
Expectations around writing progression reports and final thesis, standard of the thesis and feedback from supervisory team	☐
Consumables funding, allocation and how to spend	☐
Accommodations around disability support plan, if relevant	☐

UEA研修による資料収集調査事例

ノッティンガム大学における Expectation Setting Exercise (日本語訳)



HIROSHIMA UNIVERSITY

相互期待調整エクササイズ

相互期待調整エクササイズ面談で取り上げるべき議論事項の提案		
1	指導面談の頻度	☐
2	定期的な面談の日程調整の責任	☐
3	通常の勤務時間と場所の合意	☐
4	研究手法に関する日常的な指導、その実施者、および支援の受け口	☐
5	年次有給休暇の申請に必要な事前通知に関する期待	☐
6	希望する連絡方法	☐
7	データ管理および実験ノート	☐
8	学習プログラム—これには、研修、キャリア支援、教育、特定のプログラム（例：BBSRC DTP/CDTなど）の要件に関する議論、および学生と指導教官の間で現在取り組んでいる内容について明確に意思疎通を図ることが含まれるべきである	☐
9	自主的な研究活動への期待	☐
10	安全面—長時間労働、実験室の安全など	☐
11	博士研究において博士学生が直面する可能性のある個人的な困難に対する指導チーム各メンバーからの支援の程度、および薬学部／ノッティンガム大学（UoN）が提供するその他の支援源	☐
12	必要に応じて倫理審査の承認を取得する責任	☐
13	指導教員による博士の研究の進捗状況の確認に関する合意されたスケジュール、進捗報告書および最終論文の執筆に関する期待事項、論文の水準、および指導チームからのフィードバック	☐
14	進捗報告書および博士論文の執筆、論文の水準、および指導チームからのフィードバックに関する期待	☐
15	消耗品の資金、配分、および使用方法	☐
16	該当する場合、障害のある学生のための支援計画に関連する便宜	☐

※ 通番および日本語逐次訳は発表者による。



Q & A